

行動規範と行動指針

「行動規範」とは、
私たち一人ひとりの行動の基本方針として明示したものです。

「行動指針」とは、
「行動規範」の趣旨をさらに具体的な行動の基準に落とし込んだものです。
オグラグループ全ての役員・従業員の行動は、これに沿ったものでなければなりません。

2022年9月12日改定

小倉クラッチ株式会社

※本カードは、退職の際には必ず返却しなければなりません

「その行動」を自分に問いかけてみよう!

- ◇ その行動は、お客様、従業員、社会の期待を裏切りませんか？
- ◇ その行動は、法令や諸規程に違反していませんか？
- ◇ その行動は、報道などで公にされてもきちんと説明できますか？
- ◇ その行動は、家族に正直に話せますか？◇ その行動は、胸を張って本当に正しいと思いますか？

行動規範

1. 法令と倫理の遵守

「私たちは、業務のあらゆる場面で、法令・定款・社内諸規程および行動規範を誠実に遵守する姿勢を貫きます。」

2. 社会との調和

「私たちは、グローバルな環境において広く社会と協調し、共生を目指して社会から信頼される存在であり続けるよう努めます。」

3. 知的財産権

「私たちは、他人の権利・財産を不当に利用・侵害せず、これを最大限尊重します。」

4. 公正な取引

「私たちは、公正な市場競争と立場を理解した適正な取引を行います。」

5. お客様の安心と信頼

「私たちは、お客様に安心と信頼と満足を提供できる創造的で先見性・革新性に富んだ高品質の製品・サービスを他よりも先に勇気をもって提供し続けます。」

6. 節制

「私たちは、当社またはそのグループ企業としての社会的責任を強く自覚し、高い倫理観と責任を持って、誠実に職務を遂行します。」

7. 人権の尊重

「私たちは、お互いの人格・価値観を尊重し、一人ひとりが能力を発揮できる健康的な職場環境を築きます。」

8. 共有財産の適切な活用

「私たちは、有形・無形を問わず、当社またはグループ企業の保有する共有財産を有効・適切に活用し、これを害する様な行為はいたしません。」

9. 責任ある業務の遂行

「私たちは、社会の一員として、正当な業務の遂行を通じて社会から求められる義務を果たします。」

10. 労働環境の確保と人材の育成

「私たちは、差別のない公正な労働条件と機会を提供し、健康的な企業の基礎となる人材の育成および能力開発に関する諸制度の充実と、個性を尊重した働きやすい職場環境の整備に努めます。」

11. 守秘義務の履行

「私たちは、守秘義務の重要性を認識し、業務上知り得た情報を正当な理由なくして他に漏らしません。」

行動指針

1. 法令と倫理の遵守

各職場において遵守しなければならない法令を理解すると共に、法令の制定及び変更情報をいち早く把握し、法令違反が発生しないよう十分注意を払います。また、社会環境の変化を認識し、社会規範や倫理的行動から逸脱しないよう、社会人としてのあるべき姿を常に意識して行動します。

2. 社会への貢献

当社の製品・サービスの提供が社会の営みにとって重要なものであることを強く認識し、社会の健全な発展に寄与するために、国際社会の一員として、誠実かつ公正な不断な経営と社会との協調に努めます。

3. 適切な広報活動

企業は社会の一員であるとの自覚を持ち、組織の意思を踏まえた正確な情報を適時・的確に発信・伝達し、これを通じて、ステークホルダーの期待と信頼に応えられるよう努めます。

4. 公正・透明な取引先の選定

業務に必要な物品やサービスの調達に当たり、不合理な商習慣を排除し、公正かつ透明度の高い取引により幅広い取引先との信頼関係を確立します。

5. 反社会的勢力との絶縁

事業活動や市民社会の秩序と安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは勇気をもって毅然と対決し、一切の関係を持ちません。また、紛争地域への資金流用につながる鉱物（コンフリクトミネラル）

の不使用に努めます。

6. 危機への迅速な対応

事件・紛争等が発生した場合は、組織を挙げて迅速に対応します。事実を隠蔽する、または虚偽の事実を開示するような行為はしません。

7. 環境問題への積極的な取り組み

地球環境問題の重要性を正面から受け止め、これに関連する取り組みを積極的に行います。

8. 知的財産権の尊重

知的財産が事業活動に占める重要性を理解し、他人の権利を侵害しないよう細心の注意を払うとともに、自らの権利の保護にも努めます。

9. 公正な市場取引

当社の有している技術力・サービス・専門知識・情報等を適正な条件で提供し、独占禁止法等を遵守します。また、新興国など立場の弱い国からも適正価格で調達します（フェアトレード）。

10. 品質管理体制の確立

顧客に安心して製品をお使いいただくため、的確かつ十分な品質管理体制を構築し、製品・サービスの信頼性の確保に努めます。

11. 適時・適正な情報の提供

適時・適正な情報を提供し、顧客に安心と信頼、その結果としての満足をお届けするよう努めます。

12. 誠実な経営姿勢の堅持

顧客と誠実に向き合う姿勢を堅持し、これを今後の

業務運営の礎とします。

13. 節度ある行動

節度を超えて接待・贈答は行いません。また、節度を超えた接待・贈答も受けません。

14. 差別の禁止

性別・年齢・出身地・国籍・人権・民族・信条・宗教・障害等による差別を一切排し、人権を尊重した働きやすい職場づくりに努めます。

15. セクシャルハラスメントの禁止

相手に不快感を与える様な言動は一切行いません。

16. パワーハラスメントの禁止

職務上の権限を背景に、本来の業務の範疇を超えて、人格と尊厳を侵害する言動は一切行いません。

17. 公私の峻別

組織内と区別しての公の立場と、個人としての私的な立場を明確に区別し、私的な利害関係の職場への持込や、当社の業務と直接・間接に利害関係のある業務を承認無しに実施するなどの行為はしません。

18. 共有財産の有効・適切な活用

当社の有する財産が事業活動を支える価値ある共有の経営資源であることを認識し、有形・無形を問わずその私的流用は行わず、これを有効かつ適切に活用いたします。

19. 不祥事の防止

不祥事などを見逃すことが無いよう、正当な注意義務を払います。また、所轄官庁への届出・報告、基準の厳守、契約書の事前リーガルチェック、債権管理などの基本手続きを徹底し、責任ある業務の遂行

に努めます。

20. 意思決定の透明性確保

経営上の意思決定は、十分な資料と必要な手続きに基づいて行い、必要な場合、何時でもその過程と根拠を明示できるよう透明性の確保に努めます。

21. 適正な会計処理・内部統制

法令、会計原則および社内諸規程に基づき適正な会計処理を行い、また有効な内部統制を構築します。

22. 個性の尊重

一人ひとりの可能性・創造性を引き出すとともに、その個性を最大限に発揮できる諸制度の充実と職場環境の整備に取り組みます。

23. 健全かつ安全な職場の確保

法令および社内諸規程を遵守し、労働災害や過労死等が起きない、健康的で安全な職場づくりに努めます。また、すべての職場において児童労働・強制労働は一切行いません。

24. 人材の育成

社会や顧客などの期待を超える製品・サービスの提供を可能とするために、人材の育成と能力開発に努めます。

25. 情報の保護・管理

お客様や取引先の情報、個人情報、社内の経営や製品に関わる情報等、業務上で知り得た情報の取り扱いには十分注意を払い、適切に管理します。正当な理由なく家族を含め第三者に漏らしたり、外部に持ち出すなど「守秘義務」に違反する行為は在職中・退職後を問わず一切行いません。